

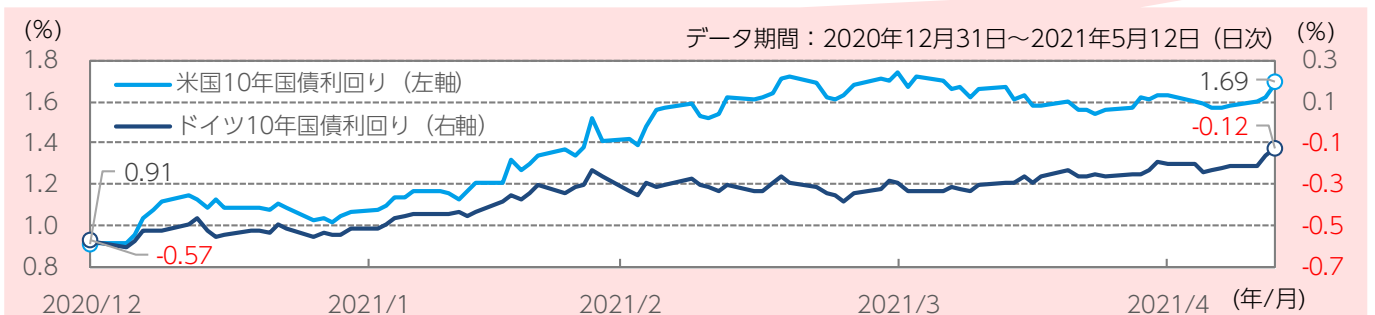
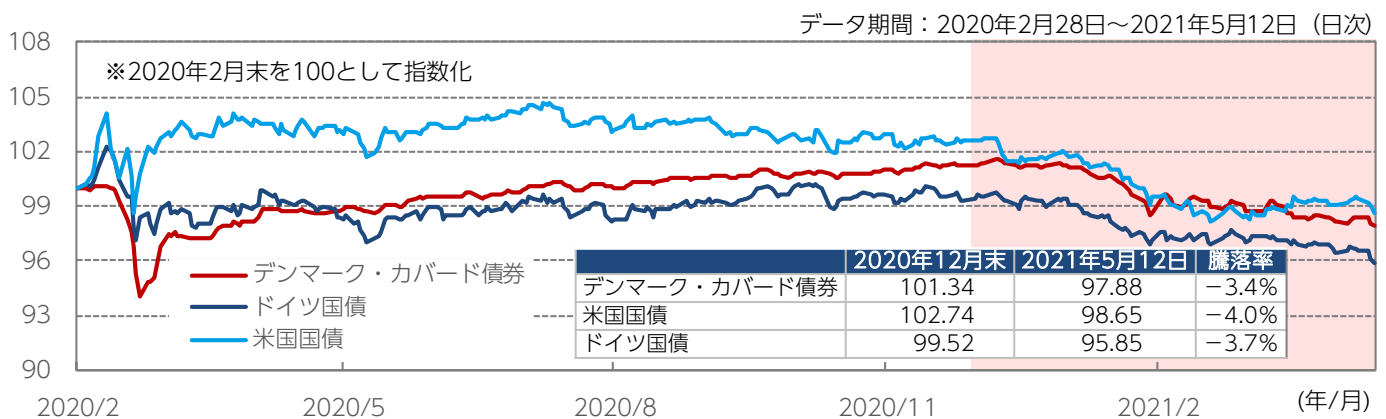
金融市場NOW

金利上昇とデンマーク・カバード債券の状況について

金利上昇によりデンマーク・カバード債券は軟調な推移に

- ▶ 米国の大規模な追加経済対策等による景気回復期待から、2021年初から米国主導で世界的に金利が上昇しています。経済活動再開にともない年後半にかけてインフレ圧力が高まるとの見方から、米長期金利は足元で上昇基調を強めています。欧州長期金利（ドイツ10年国債利回り）も、欧州中央銀行（ECB）による資金供給策の縮小が意識されたことや、独仏などで新型コロナウイルスワクチン接種が進展し、景気回復期待が高まっていることなどを背景に緩やかな上昇基調で推移しています。
- ▶ 欧米金利上昇の影響を受け、デンマーク・カバード債券は年初より軟調な推移となっています。
- ▶ デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しておらず、デンマーク・カバード債券の下落は、欧米を中心とした世界的な国債利回りの上昇が主な要因とみられます。

図表：欧米の国債とデンマーク・カバード債券の推移



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 デンマーク・カバード債券：ニクレディットDMBトータルリターンインデックス(現地通貨ベース)
 米国国債、ドイツ国債：FTSE世界国債インデックスの各国国債インデックス(トータルリターン、現地通貨ベース)

当面の金利の見通し

- ▶ 米国をはじめ世界各国・地域で新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでおり、景気回復期待が高まっています。欧州でも行動制限が緩和され始めており、経済活動の正常化期待から欧州長期金利は上昇しやすい環境にあると言えます。しかし、米連邦準備制度理事会（FRB）は金融緩和姿勢の継続を繰り返し強調していること、ECBも“（コロナ禍への緊急対応策である）資金供給策縮小の議論は時期尚早”と緩和姿勢の継続を強調していることなどから、欧州長期金利の上昇余地は限られていると思われます。
- ▶ 欧州金利は、景気回復期待から一時的にプラス圏となることも想定されるものの、当面ECBが低金利政策を維持するとの見通しから、現行水準を中心としたマイナス圏での推移となることを想定します。金利上昇局面においては、一般的に新規・借り換えともに住宅ローンの件数が減少するため、デンマーク・カバード債券の発行量は徐々に抑制されていくとみられます。金利上昇が落ち着きを取り戻せば、デンマーク・カバード債券市場は需給環境が改善され、次第に底堅く推移していくものと思われます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>